

日本、白星発進



日本—スウェーデン 前半、先制ゴールを決めた荒川に駆け寄り喜ぶ日本イレブン
＝パンテサリコ競技場(共同)

なでしこ
ジャパン

強豪スウェーデンを下す

【アテネ十一日共同】小林伸輔】史上最大規模となったアテネ五輪は、十三日夜(日本時間十四日未明)の開会式に先立ち十一日(同十二日未明)にサッカー女子で競技を開始した。1次リーグE組の日本はギリシャ中部のボロスでスウェーデンと対戦、前半24分の荒川恵理子(日テレ)の決勝点で1対0で勝った。日本は悲願の五輪初勝利を挙げ、目標のメダル獲得に向けて好発進した。

十一日は、サッカー女子に引き続き午後八時半(同十二日午前二時半)からサッカー男子も1次リーグ4試合を実施。B組の日本は、十二日夜(同十三日未明)にパラグアイとの初戦に臨む。

十三日の開会式は五輪スタジアムで午後七時半(同十四日午前一時半)からアトラクションが始まり、同八時半(同午前二時半)すぎから式典が行われる。

史上最多の202カ国・地域が参加する五輪は十四日から本格的に競技を開始し、二十九日まで28競技、301種目で熱戦を展開する。参加選手、役員は約1万6000人の見込み。五輪を狙ったテロを警戒し、アテネ近辺の警備は一層、厳重になった。